

「挑戦」と「好機」の令和二年度 まちづくりの3つの視点

当初予算の主要事業からピックアップ

「かごしま国体・かごしま大会」では、選手や観光客など約37万7千人の来場者が見込まれ、その経済効果は県全体で619億円(※)ともいわれています。本市では、この好機を捉えて受け入れ態勢の充実・強化を図り、交流人口のさらなる拡大につなげます。

※(株)九州経済研究所による試算

■観光や経済への大きな効果も

■大会のシンボル「炬火」をみんなでつなぎます

白波スタジアムの炬火台に点火される「炬火」を県内全ての市町村でリレーしてつなぐ「炬火リレー」や、国体・大会の魅力を体感できるイベントを開催し、大会開催に向けた機運を高めます。



大会日程

燃ゆる感動かごしま国体(第75回国民体育大会)
10月3日(土)～13日(火)
※一部競技は9月12日(土)～20日(日)

燃ゆる感動かごしま大会(第20回全国障害者スポーツ大会)
10月24日(土)～26日(月)

いよいよ今秋、本県では48年ぶりとなる「かごしま国体」、障害者スポーツの全国的な祭典で本県初開催となる「かごしま大会」の開催を迎えます。各都道府県の代表選手が集結し、熱い戦いを繰り広げます。

カルティベート CULTIVATE

「まち」の魅力を磨く

48年ぶりに鹿児島島で開催
燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会

【国体総務課 ☎ 808・2478 FAX 808・0083】

心を込めたおもてなしで鹿児島島の魅力を発信しましょう!



国体総務課 瀬野 主事



昭和47年の太陽国体でも、本市などで炬火リレーを行いました。

チアー CHEER

～出会いから結婚までをサポート～

「ひと」の活躍を応援

新たに“趣味”で出会える婚活イベントを開催します

【こども政策課 ☎ 216-1514 FAX 803-7628】

趣味で出会えるイベント開催事業

本市では、マリーサポートかごしま(結婚相談所)の運営や「出会い・ふれあい企業対抗運動会」、「謎解き婚活イベント」など、結婚を希望する人へさまざまな出会いの場を提供しています。

本年度はさらに、共通の「趣味」を通して交流を深める婚活イベントを開催します。自分の好きなことをきっかけに、人生のパートナーを見つけてみませんか。

■趣味で出会える婚活イベント

開催時期は秋～冬を予定。詳しくは「かごしま市民のひろば」や市HPでお知らせします。

クリエイト CREATE

～本市へのU I J ターン大歓迎～

「しごと」の機会を創る

“移住”による東京圏からの就業・起業を後押し

【雇用推進課 ☎ 216-1325 FAX 216-1303】

移住・就業等支援事業

本市では、専任の職員を配置し、移住を検討する人への相談支援や、首都圏でのPR活動などを行ってきました。

本年度は、東京圏から本市へ移住し、中小企業などに就職・起業した人へ支援金を支給する事業を開始し、U I J ターンによる就業・起業者を増やします。

■移住促進特設サイト「かごしま移住ライフ」

先輩移住者からのメッセージや、本市の魅力などを紹介しています。



かごしま移住ライフ

さまざまな支援で結婚を希望する人をサポート

♥企業対抗運動会

企業の枠を越えた出会いと交流の場として開催します



♥謎解き婚活イベント

男女のグループで協力して謎を解きながら交流を深めます

♥マリーサポートかごしま

相談者に寄り添いながら人生のパートナーを見つけるお手伝いをします



平成30年度、東京から本市に家族で移住した永山さんのメッセージ
鹿児島で手に入れた「豊かな暮らし」

鹿児島島のイベントに仕事で関わるうちに魅力を感じ始めていた矢先、そのイベントを主催する会社に誘われ、移住を決断しました。移住のときは、市の補助金を交通費に充てられたので、ありがたかったです。

東京にいるときに比べると収入は少し減りましたが、鹿児島は人が優しく、食や自然も豊富。実際に移住してみて、鹿児島市は本当にいいまちだと家族全員が感じています。



東京から本市に移住した永山 貴博 さん